

創薬科学入門演習

基礎科目 2年／前・後期 1単位 必修科目

科目責任者 高波 利克(薬品物理化学研究室)

■ 教育目的

各研究室の研究をわかりやすく紹介し、生命創薬科学研究とは具体的にどのようなものかを理解させる。ここで得た知識を生かし、3年次の「薬科学総合実習・演習Ⅰ・Ⅱ」、さらには4年次の「卒業研究A・B」へとつなげ、研究に対する基礎力を充実させる。ここで得た研究基礎力は、さらに、大学院での研究、就職に生かされていく。

【卒業認定・学位授与の方針：SD-①、SD-②、SD-③、SD-④】

■ 学習到達目標

各研究室の研究を概説できる。さらに、紹介された研究の中で、特に興味を持った研究に対しては、1年次の「薬の発見・発明」で行ったように調査を行い、理解を深め説明できるようにする。(知識、技能)

■ 準備学習（予習・復習）

予習は各研究室の行っている研究を調べておく。(20分以上)ただし復習はしっかり行い、理解できない箇所は担当教員に質問し、各研究室の研究内容を理解すること。(1時間以上)

■ 授業形態

課題解決型学習、ディスカッション・ディベート、グループワーク、双方向型授業、講義

■ 授業内容

各研究室の研究紹介(約20分)、評価のための課題(レポート、SGDなど)(約20分)

No.	項目	授業内容	SBOコード
1	オリエンテーション	授業の目的と内容の説明 個人レポートの作成 ①なぜ生命創薬科学科に入学したか ②将来について ③1年を終えての自己評価	
2-15	研究紹介と課題	研究紹介(約20分)、評価のための課題(レポート、グループディスカッションなど、約20分)	

■ 授業分担者

菱沼滋、花田和彦、小林カオル、櫛山暁史、植沢芳広、小笠原裕樹、兎川忠靖、赤沢学、森田雄二、杉田隆、紺谷園二、長浜正巳、大石一彦、矢久保修嗣、高取(木下)薫、山中正道、齋藤望、高取和彦、高波克利、杉山重夫、深水啓朗、鈴木俊宏、片山昌勅、酒井良子、松本靖彦、紀嘉浩、馬場正樹、横屋正志、野地匡裕、樋口和宏、市川智恵

■ 課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法

評価は全22研究室の課題を各10点で評価し、合計220点を100点に換算する。

■ 教科書

なし

■ 参考書

なし

■ その他

予習は必要ないが、復習はしっかり行い、各授業内容を理解する事。理解できない箇所は担当教員に質問をすること。各研究室の研究内容を理解し3年次の薬科学総合実習・演習や4年次の卒業研究の研究室選択につなげて欲しい。